

四日市の 水道を考える シンポジウム

講演：『水道民営化で水はどうなる』
水ジャーナリスト 橋本淳司 氏

2019年12月14日(土)

(開場 13:00) 開会 **13:20~16:15** 終了

四日市市市民交流会館 本町プラザ 1階ホール
三重県四日市市本町9番8号

参加費 500円 (学生無料、障害者・介助者半額)

(手話通訳・お子さんの見守り致します。詳細は事務局までお問い合わせください。)

主催：四日市の水道を考えるシンポジウム実行委員会
問合先／事務局(加藤) 080-3661-6935 peachankato@gmail.com

共催：東海圏・トップセールス事業体リレーシンポジウム実行委員会



2018年の水道法改正により、コンセッション方式（官民連携の一種で運営権を民間事業体に長期売却する方法）による、水道事業の民営化が可能になりました。

四日市市と三重県は、その導入を推進するトップセールス事業体として、国により選定されています。しかし、世界の多くの都市では、水道の民営化を行った後に水質悪化や料金高騰などにより、再公営化された事例が後をたちません。

設備の老朽化や災害から、安全で美味しい水を守っていくために、私たちがいま知っておくべき事は何か。四日市でも市民による学習会が積み重ねられてきました。

この度、水道民営化の課題と四日市市や県内の現状を知るとともに、浜松、岐阜、伊賀市からもご報告をいただき、共に話し合う会を企画致しました。

皆さま、この機会にぜひご参加ください。

○ パネラー



池谷たか子さん

「浜松市の水道
民営化を考える
市民ネットワーク」
事務局長



津田直彦さん

「命の水を考える
会ぎふ」会長



細川ゆう子さん

「NPO法人 伊賀
市 水と緑の会」
理事

○ 四日市市の状況報告 内田順己さん

四日市市上下水道職員労働
組合

○ 講師：橋本淳司 氏

水ジャーナリスト。アクアスフィア・
水教育研究所代表。
水と人の未来を語るWEBマガジン
「アクアスフィア」編集長。

○ コーディネーター 近藤夏樹さん

名古屋水道労働組合中央執行委
員長・自治労連公企評事務局長



四日市市市民交流会館 本町プラザ —交通アクセス—

- ・近鉄線：近鉄四日市駅下車徒歩約15分
- ・あすなろう鉄道：あすなろう四日市駅下車徒歩約15分
- ・JR：JR四日市駅下車徒歩約5分
- ・車：専用駐車場がございません。
(ご不明な点は事務局にお問合せください)

近隣のコインパーキング

- ・新丁ひろば駐車場 15台 (30分以内は無料
以後 30分140円)
- ・市営本町駐車場 28台 (30分140円)